

令和 5 年 2 月 16 日

原爆放射線医科学研究所〔新着資料紹介展示〕
被爆者を生き抜く：資料から見えてくる児玉光雄さん

このたび、原爆放射線医科学研究所（原医研）でお預かりしました、故・児玉光雄さんの資料の展示を企画いたします。

児玉さんは 1932 年に広島市荒神町で生まれ、1945 年 8 月 6 日、広島県立広島第一中学校にて被爆しました。その後、20 を超えるがんと向き合い、被爆を自ら問い、考え、伝え、「被爆者」として生き抜き、2020 年秋に死去されました。

一口に原爆被爆者と言っても、その生き方や生き様は多様であるので、ある特定の人のみを象徴的に挙げて、それをもって「被爆者」全体を語る、ということとはなるべく避けた方が良いでしょう。そのうえで、私たちは、原爆を、また被爆するということを、そして原爆被爆者のことをなるべく多く受け継ぐ責務があります。今回は、そういった流れの中で、広島大学の卒業生でもあった児玉さんとのご縁があり、企画することといたしました。

多くの取材を受け、伝承者の育成や自らの証言活動にも積極的だった児玉さんについては、既に多くが語られています。そんななか、つたない私共の展示でできることはあまりありません。そこで今回は、「資料から見えてくる」という点に力点を置きます。ご自身による語りや児玉さんの被爆体験を伝えたいと力を尽くしている皆様に敬意を表しつつ、そのうえで、預からせていただいた資料が『自ら発する』児玉さん像、特に、医学のこと、科学者との交流、広島大学との関係などに着目したいと思います。

1. タイトル 〔新着資料紹介展示〕 被爆者を生き抜く：資料から見えてくる児玉光雄さん
2. 場所 広島大学医学部医学資料館（広島市南区）
3. 期間 2023 年 3 月 10 日（金）～5 月 26 日（金）（予定）
 〔時間〕10:00～16:00 〔休館〕医学資料館に準ずる
 ※入場無料・事前予約不要
 ※コロナ感染状況等により、中止、延期、開催方式の変更等がある場合もございます。
4. 備考 会期開始直前にマスコミ関係者向けの内覧会を予定しています。

【お問い合わせ先】

原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部
助教 久保田 明子
TEL:082-257-5877



被爆者を 生き抜く

【新着資料紹介】

資料から見えてくる

児玉 光雄 さん

児玉 光雄 …1932年広島市荒神町生まれ。1945年8月6日、広島県立広島第一中学校にて被爆。20を超えるがん向き合い、被爆を問い、考え、伝え、「被爆者」として生き抜く。2020年死去。

写真：児玉 光雄 さん

児玉光雄資料より
「西オーストラリアのワイルドフラワーに包まれて」

【期間】 2023年 3月10日(金) ~ 5月26日(金)

入 場 無 料

10 : 00 ~ 16 : 00 (土曜日・日曜日・祝日閉館)

【会場】

広島大学医学部
医学資料館

広島大学霞キャンパス（大学病院前）

主催 広島大学原爆放射線医科学研究所

共催 放射線災害・医科学研究拠点
(広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

協力 広島大学医学部

企画・製作 広島大学原爆放射線医科学研究所
附属被ばく資料調査解析部

【ご注意】

新型コロナウイルスの感染状況等により、中止、延期、開催方式の変更等がある場合もございます。
あらかじめご了承ください。

問い合わせ ☎082-257-5877 / kohosha@hiroshima-u.ac.jp 解析部事務